

2022年度(第65回)
日本ジャーナリスト会議賞(JCJ賞)
応募と推薦のお願い

日本ジャーナリスト会議(JCJ)は、優れたジャーナリズム活動を顕彰するJCJ賞への応募と推薦を、別紙要項のように始めます。

JCJ賞は1958年の創設以来、今年は65回目を迎えます。

今年も充実した作品が数多く応募されるよう、心から期待しています。

推薦作品の応募締め切りは、新聞・出版は5月20日、放送・その他は5月27日となっております。なお、コロナ禍問題の影響を考えまして、今年度も昨年同様、JCJ賞公表日を8月末日に予定し、贈賞式を9月24日(土)に予定しております。

つきましては応募・推薦に、是非とも御協力いただけますよう、お願い申し上げます。

2022年4月1日

日本ジャーナリスト会議(JCJ)

代表委員：清水正文、白垣詔男、隅井孝雄、中村梧郎、
藤森 研、山口昭男、吉原 功

事務局長 須貝道雄

JCJ賞推薦委員会統括責任者 大場幸夫

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3-10-15 富士ビル501号

電話：03-6272-9781

FAX：03-6272-9782

電子メール：office@jcj.sakura.ne.jp

ホームページ：<http://www.jcj.sakura.ne.jp>

日本ジャーナリスト会議賞(JCJ賞)

2022年度(第65回)・応募と推薦のお願い

日本ジャーナリスト会議(JCJ)は、年間のすぐれたジャーナリズム活動を顕彰するため、1958年以来「JCJ賞」を設け、贈賞してきました。今年は第65回となります。

今年度も優れた労作の多数応募を願っています。なお2020年度からJCJ大賞、JCJ賞に加え今後の活躍を期待して新人賞も設けております。自薦または他薦によって応募いたします。

■日本ジャーナリスト会議賞(JCJ賞)募集規定

〈募集ジャンルと応募資格〉

新聞、放送、出版、写真作品のほか、市民運動や地域活動なども含み、個人・グループを問いません。
提出期限までの1年以内に発表された作品(連載の場合は同期間に発表)を対象とします。

〈提出条件〉

郵送または宅配便で下記、提出先にお送りください。

- ◆ 書籍の場合はその現物1冊。放送作品はDVDを1本。
- ◆ 雑誌、新聞の場合は、その掲載部分をコピー(カラー写真を含む場合はカラー複写)1セット。
※ 1作品に1枚、エントリーシートを必ず同封してください。特に連絡先、担当者、電話、メールアドレスは必ず明記してください。FAX、メールによる送稿は受け付けません。
エントリーシートはJCJ事務所に常備します。

〈提出期限〉

- ◆ 新聞、出版作品は**5月20日(金)**
- ◆ 放送・その他の作品は**5月27日(金)**です。 郵送の場合、当日消印までが有効です。

〈提出先〉

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3-10-15 富士ビル 501号

日本ジャーナリスト会議「JCJ賞」応募作品係 (赤で目立つように表記してください)

電話 03-6272-9781 FAX 03-6272-9782

- ※ 応募作品は返却しません。選考経過、理由などについてのお問い合わせには応じられません。
- ※ 選考結果は8月末の発表予定であります。JCJホームページに掲載致します。
- ※ 入選者への贈賞式は**9月24日(土)**を予定しております。

選考委員 (50音順・敬称略)

伊藤洋子(元東海大学教授) 斎藤貴男(ジャーナリスト) 酒井憲太郎(フォトジャーナリスト)
鈴木 耕(編集者) 永田浩三(武蔵大学教授) 藤森 研(元朝日新聞論説委員)

(問い合わせ先) JCJ事務所：電話 03-6272-9781 FAX 03-6272-9782 (月・水・金 13時～17時) Eメール：office@jcj.sakura.ne.jp HP：<http://www.jcj.sakura.ne.jp/>

2022年4月1日

日本ジャーナリスト会議

JCJ事務局長 須貝道雄

JCJ賞推薦委員会統括責任者 大場幸夫

●このシートをプリントアウトして御記入の上、必ず作品に同封してください。

2022年JCJ賞エントリーシート

申請日	2022年 月 日
タイトル・作品名	
新聞社、放送局、出版社	
掲載日、放送日、初版出版日	
記者、ディレクター、著者	
作品要旨	
応募・推薦理由	
推薦者（自薦無記入、他薦は必須）	
連絡先電話・担当者（必須）	
連絡先メール・担当者（必須）	

- エントリー作品は1点必要です。応募作品は返却いたしません。
- 受賞作品は日本ジャーナリスト会議の研究会、講演会などで使用することがあります。

J C J 賞 2004年－2021年受賞作品

<2004年>第47回

【J C J 大賞】

- 「北海道警察裏金問題に対する一連のキャンペーン報道」北海道新聞社・道警裏金問題取材班
- 「外務省秘密文書の暴露と地位協定の改定を目指すキャンペーン報道」琉球新報社・地位協定取材班

【J C J 賞】

- 『戦場の「慰安婦」/拉孟全滅戦を生き延びた朴永心の軌跡』（明石書店）西野瑠美子
- 「月刊写真誌『DAYS JAPAN』創刊号以来の戦争告発報道」（デイズジャパン発行）発行・編集人、広河隆一
- NNN ドキュメント' 04『大地を踏みしめてもう一度』日本テレビ制作スタッフ

<J C J 市民メディア賞>

『世界は変えられる/TUP が伝えるイラク戦争の「真実」と「非戦」』（七つ森書館）TUP（平和をめざす翻訳者たち）

【黒田清 J C J 新人賞】

- 書籍『9・11 ジェネレーション/米国留学中の女子高校生が学んだ「戦争」』（集英社新書）岡崎玲子

<2005年>第48回

【J C J 大賞】

- 『リトルバース/戦火のバグダッドから』ドキュメンタリー映画と著書（晶文社）綿井健陽

【J C J 特別賞】

- 『未来をひらく歴史/東アジア3国の近現代史』（高文研）日中韓3国共通歴史教材委員会

【J C J 賞】

- 『戦後60年キャンペーン/新たな視点・証言で探る沖縄戦』沖縄タイムス・戦後60年取材班
- 『マーシャル諸島/核の世紀』上下巻（日本図書センター）豊崎博光
- 『沖縄/よみがえる戦場』NHK 沖縄放送局

<J C J 市民メディア賞>

- ビデオ『辺野古の闘いの記録』（沖縄平和ネットワーク）大島和典

【黒田清 J C J 新人賞】

- ドキュメンタリー映画『にがい涙の大地から』海南友子

<2006年>第49回

【J C J 大賞】

- 『「共謀罪キャンペーン」など一連の「こちら報道部」の報道』東京新聞特別報道部

【J C J 特別賞】

- 録音構成『ヒロシマ ナガサキ 私たちは忘れない』（CD9枚組）伊藤明彦

- ドキュメンタリー映画『三池 終わらない炭鉱（やま）の物語』監督・熊谷博子

【J C J賞】

- 『沖縄返還密約／元外務省高官証言スクープ』北海道新聞記者・往住嘉文
- 『明仁さん、美智子さん、皇族やめませんか』（大月書店）板垣恭介
- 『シリーズ・言論は大丈夫か／第1回「ビラ配りと公安警察」／第2回「共謀罪とは何か」』テレビ朝日・朝日放送「サンデープロジェクト」取材班

<JCJ 市民メディア賞>

- 『きのご雲の下から、明日へ』（KTC 中央出版）斉藤とも子

【黒田清 J C J 新人賞】

- 『報道が教えてくれないアメリカ弱者革命』（海鳴社）堤未果

<2007年>第50回

【J C J大賞】

- 〈新聞長期企画と写真集〉『水俣病50年』熊本日日新聞

【J C J賞】

- 〈新聞長期企画〉『挑まれる沖縄戦／「集団自決」問題キャンペーン』沖縄タイムス
- 書籍『「改憲」の系譜／9条と日米同盟の現場』（新潮社）共同通信社
- 『生きさせろ！／難民化する若者たち』（太田出版）雨宮処凛

【J C J特別賞】

- 〈ドキュメンタリー映画〉『ひめゆり』（製作プロダクション・エイシア）監督・柴田昌平、共同製作 財団法人沖縄県女師・一高女ひめゆり同窓会

【黒田清 J C J 新人賞】

- 『コバウおじさんを知っていますか／新聞マンガにみる韓国現代史』（革の根出版会）チョンインキョン（鄭仁敬）

<2008年>第51回

【J C J大賞】

- 〈新聞長期企画〉「新聞と戦争」朝日新聞特別取材班

【J C J賞】

- 〈新聞キャンペーン企画〉「揺らぐ安全神話・柏崎刈羽原発／中越沖地震からの警告」新潟日報取材班
- 「セーフティネット・クライシス／日本の社会保障が危ない」NHK スペシャル取材班
- 森達也『死刑-人は人を殺せる。でも人は、人を救いたいとも思う。』朝日出版社

【黒田清 J C J 新人賞】

- 城戸久枝『あの戦争から遠く離れて-私につながる歴史をたどる旅』（情報センター出版局）

<2009年>第52回

【J C J賞】

- 半田滋『「戦地」派遣-変わる自衛隊』岩波新書
- NHKスペシャル「こうして“核”は持ち込まれた-空母オリスカニの秘密」NHK広島放送局

- 熊本日日新聞 連載「川辺川ダムは問う」

【黒田清 J C J 新人賞】

- 早川由美子監督「ブライアンと仲間たちーパーラメント・スクエア」

<2010年>第53回

【J C J 賞】

- 琉球新報 連載「呪縛の行方」を中心とする「普天間問題」のキャンペーン報道
- 沖縄タイムス 連載「迷走『普天間』」を中心とする一連の報道
- 信濃毎日新聞キャンペーン「笑顔のままで 認知症-長寿者社会」
- 白戸圭一『ルポ 資源大陸アフリカ-暴力が結ぶ貧困と繁栄』東洋経済新報社

【黒田清 J C J 新人賞】

- NNNドキュメント09「アラームに囲まれた命～NICU…医療と福祉のはざままで」
札幌テレビ・遊佐真己子

<2011年>第54回

【J C J 大賞】

- NHKE TV特集「ネットワークでつくる放射能汚染地図～福島原発事故から2カ月」
- 朝日新聞「大阪地検特捜部の元主任検事による押収証拠改ざん事件」の特報および関連報道 朝日新聞大阪本社・東京本社社会グループ

【J C J 賞】

- 毎日新聞「検証 大地震」2011年4月～6月 毎日新聞・震災検証取材班
- 月刊誌「世界 1・5・6月号 原発特集」岩波書店

【J C J 特別賞】

- 市民運動「原発問題住民運動全国連絡センターと原発の安全性を求める福島県連絡会」

<2012年>第55回

【J C J 大賞】

- 東京新聞特別報道部「福島原発事故に国が設定した許容被曝量を疑問視し、危険を追及した『こちら特報部』の一連の報道」

【J C J 賞】

- 琉球新報「沖縄防衛局長『オフレコ』暴言スクープをはじめとする米軍普天間飛行場移設問題をめぐる一連の報道」
- 安田浩一『ネットと愛国』講談社
- NNNドキュメント12「いくも地獄 戻るも地獄～倉澤治雄が見た原発ゴミ」
- インターネット放送局「Our Planet-TV」の一連の報道活動

【J C J 特別賞】

- 横浜事件・再審裁判＝記録・資料刊行会『横浜事件・再審裁判3部作』

<2013年>第56回

【JCJ賞】

- 琉球朝日放送「標的の村～国に訴えられた東村・高江の住民たち」
- NHKスペシャル シリーズ東日本大震災「空白の初期被ばく～消えたヨウ素131を追う～」
- 北海道新聞 連載「原子力 負の遺産 核のごみどこへ」
- 布施祐仁『ルポ イチエフ 福島第1原発レベル7の現場』
- 大石芳野 写真集『福島 FUKUSHIMA 土と生きる』藤原書店

【JCJ特別賞】

- 相馬高校放送局 相馬高校放送局の高校生たちが3・11大震災後に取り組む活動

<2014年>第57回

【JCJ大賞】

- 東京新聞編集局「憲法、安保、原発一ずばり核心を突く1面の『論点明示報道』」

【JCJ賞】

- TBSテレビ「報道特集」特定秘密保護法・集団的自衛権などの一連の報道活動
- NNNドキュメント13「チェルノブイリから福島へ 未来への答案」
- しんぶん赤旗日曜版編集部『「ブラック企業」を社会問題化させた一連の追及キャンペーン報道』
- 相川祐里奈『避難弱者一あの日、福島原発間近の老人ホームで何が起きたのか?』東洋経済新報社

【JCJ特別賞】

- むのたけじ氏

<2015年>第58回

【JCJ大賞】

- 琉球新報 「普天間・辺野古問題」を中心にこの国の民主主義を問う一連の報道キャンペーン

【JCJ賞】

- 北海道新聞 佐竹直子記者 「獄中メモは問う 北海道綴方教育連盟事件」
- 東京新聞 「3憲法学者の『違憲』明言スクープ」はじめ一連の安倍政権追及報道
- 樫田秀樹『“悪夢の超特急”リニア中央新幹線』旬報社
- 眞並恭介『牛と土』集英社
- TBS サンデーモーニング

【J C J 特別賞】

- 松田浩氏の長年にわたるジャーナリズム実践・研究活動への貢献

< 2016年 > 第59回

【J C J 大賞】

- 毎日新聞 憲法骨抜きを許した内閣法制局の対応をスクープ

【J C J 賞】

- 神奈川新聞 「時代の正体」
- 反核・写真運動監修 編者小松健一、新藤健一『決定版 広島原爆写真集』『決定版 長崎原爆写真集』勉誠出版
- 松本創 『誰が「橋下徹」をつくったか』140B
- 毎日放送 映像「15 なぜペンをとるのか〜沖縄の新聞記者たち」
- テレビ朝日 報道ステーション 「憲法改正の行方…「緊急事態条項」独ワイマール憲法が生んだ独裁の教訓」

【J C J 特別賞】

- 嬉野京子さんの50年間の沖縄取材活動

< 2017年 > 第60回

【J C J 大賞】

- 朝日新聞 「森友学園」への国有地売却と「加計学園」獣医学部新設問題を巡るスクープと一連の報道

【J C J 賞】

- 吉田敏浩 『「日米合同委員会」の研究 謎の権力構造の正体に迫る』創元社
- 沖縄タイムス社 高江・辺野古 新基地強行を問う報道
- 北日本新聞社 政務活動費不正のスクープと地方議会改革の一連のキャンペーン
- チューリップテレビ 富山市議会における政務活動費の不正を明らかにした調査報道

< 2018年 > 第61回

【J C J 賞】

- 梅田正己 『日本ナショナリズムの歴史』全4巻 高文研
- 朝日新聞 財務省による公文書の改ざんをめぐる一連のスクープ
- しんぶん赤旗 「米の核削減、日本が反対 核弾頭の最新鋭化も促す」「『沖縄に核』日本容認、09年米の貯蔵庫建設提案に」その他続報
- 沖縄タイムス 沖縄へのデマ・ヘイトに対峙する報道
- 日本テレビ放送網 NNN ドキュメント18 南京事件II 歴史修正を検証せよ

<2019年>第62回

【J C J大賞】

- 東京新聞社会部 「税を追う」キャンペーン

【J C J賞】

- みんなのデータサイト出版 『図説17都県 放射能測定マップ+読み解き集』
- 秋田魁新報社 「イージス・アショア配備問題を巡る一連の報道」
- 山形放送 「想画と綴り方～戦争が奪った子どもたちの“心”」
- NHK ETV特集「誰が命を救うのか 医師たちの原発事故」

<2020年>第63回

【J C J大賞】

- しんぶん赤旗日曜版 安倍晋三首相の「桜を見る会」私物化スクープと一連の報道

【J C J賞】

- 三上智恵『証言 沖縄スパイ戦史』 (集英社新書)
- 吉田千亜『孤塁 双葉郡消防士たちの3・11』 (岩波書店)
- 森友問題で自殺した財務省職員の遺書の公開 (週刊文春) 赤木雅子 相澤冬樹
- 「ヤジと民主主義～小さな自由が排除された先に～」 北海道放送

<2021年>第64回

【J C J大賞】

- 信濃毎日新聞社 『五色(いつついろ)のメビウス ともにはたらき ともにいきる』
- 平野雄吾 『ルポ 入管―絶望の外国人収容施設』ちくま新書

【J C J賞】

- しんぶん赤旗 学術会議人事介入スクープとキャンペーン
- NHK ETV特集「原発事故“最悪のシナリオ”～そのとき誰が命を懸けるのか～」
- 映画「標的」(監督・西嶋真司 制作・ドキュメントアジア)

【J C J特別賞】

- 俵義文 日本の教科書と教育を守り続けた活動